



JASDAQ

平成 24 年 11 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社 EMCOM ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 楊 燕姫  
( J A S D A Q ・ コード 7954 )  
問合せ先 経理部長 菊池 貴之  
電 話 03-5436-4280

### 当社子会社による第三者割当増資及び子会社の異動に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社でありますK-1 Global Holdings Limited（本社：Wanchai, Hong Kong、代表取締役 金健一、以下「K-1 Global」）が、LEXI INVESTMENT LIMITED（本社：P.O. Box 957, Offshore Incorporations Centre, Road Town, Tortola, British Virgin Islands、代表者Pioneer Partner Limited）を割当先とする第三者割当増資を実施することを決議いたしましたので、お知らせいたします。また、この第三者割当増資の実施によりK-1 Globalの株式を保有している株式会社EMCOMエンタテインメントの保有持分比率が低下し、連結の範囲から除外されることになりましたので併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 第三者割当による新株式の募集の概要

(1) 払込期日	第1回目：平成24年11月21日（予定） 第2回目：平成24年11月28日（予定）
(2) 発行新株式数	普通株式 6,000,000 株
(3) 発行価額	1株につき HK\$1.00
(4) 調達資金の額	HK\$6,000,000（金約 63 百万円） （うち、第1回目：HK\$2,250,000（金約 23 百万円） 第2回目：HK\$3,750,000（金約 39 百万円）
(5) 資本組入額	1株につき HK\$1.00
(6) 資本組入額の総額	HK\$6,000,000（金約 63 百万円）
(7) 増資後の資本金	HK\$6,010,000（金約 63 百万円）
(8) 増資後の当社出資比率	0.085%
(9) 募集又は割当方法（割当予定先）	第三者割当による方法とし、割当先は以下とする。 LEXI INVESTMENT LIMITED

#### 2. 募集及び子会社異動の、目的及び理由

##### (1) 募集及び子会社異動の目的

現在当社グループは、エンタテインメント事業、資源流通事業及び旅行商品販売事業を営んでおります

が、当社を取り巻く経営環境におきましては、非常に厳しい状況が続いております。

資源流通事業におきましては、汚染土壌の洗浄剥離による「汚染土壌処理システム」を開発いたしました。研究開発費用や、実証実験に要した費用等の先行投資費用が生じる一方で、放射性物質に汚染された福島県内の土壌等を保管する中間貯蔵施設の準備が未だ整っていないことやゼネコン等得意先との除染事業に関する交渉を行ってはいるものの契約締結には至っていないこと等により未だ当初計画の業績に至っておりません。

また、エンタテインメント事業におきましても、平成24年10月に両国国技館で開催された『K-1 RISING WORLD GP FINAL 16』における運営費用が当初予定額よりも増大した事が主な要因となり、当初計画の業績から大幅に減少しております。

K-1 Globalは、格闘技イベント「K-1」の企画及び主催、これに関連するライセンス事業とON LINE ITビジネスに重点を置き、興行及び大会イベントを欧州、米国、アジアにおいて行ってまいりました。当社グループにおける位置づけとしましては当社100%子会社である㈱EMCOMエンタテインメントが、平成24年1月31日よりK-1 Globalの51%を保有しております。

今後の年内における大会開催予定は1回を予定しておりますが、このギリシャ・アテネの大会も興行の性質上、運営費用先行投資で発生いたします。

このような状況の中、世界的に話題の格闘技イベント「K-1」ブランドをライセンスし展開し、維持することを目的とし、以前より「K-1」ブランド事業に協力をしていただける投資家を探してまいりました。第三者割当増資を行うことにより、潤沢な興行資金を得ることが可能となり、「K-1」ブランド事業を継続することが可能となります。

その一方で、当社といたしましては、平成24年11月14日付適時開示「継続企業の前提に関する事項の注記についてのお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、同日開催の取締役会において、継続企業の前提に関する事項について注記することを決議いたしました。主たる原因といたしましては、前連結会計年度及び第2四半期連結累計期間に引き続き営業損失を計上したこと、それに伴い現金預金残高が減少したことが挙げられます。そこで、当社といたしましては当該状況を解消すべく、グループ会社における投資及び借入等の資金調達を視野に入れてまいりました。新たな投資家であるLEXI INVESTMENT LIMITEDがK-1 Globalの筆頭株主となることにより、LEXI INVESTMENT LIMITEDがK-1 Globalに今回の第三者割当増資後、当社がK-1 Globalに対して保有する金銭債権相当額である710百万円及び事業運営資金を新たに投融資（本第三者割当増資分を含む）する予定であります。これにより、当社100%子会社である㈱EMCOMエンタテインメントが、K-1 Globalに対して保有する金銭債権を回収することが可能となり、「K-1」事業に対する投資回収も可能となります。

上記、理由によりLEXI INVESTMENT LIMITEDに対して第三者割当増資を行うことにより、K-1 Globalの株式を保有している株式会社EMCOMエンタテインメントの保有持分比率が51%から0.085%に低下し、K-1 Globalは連結の範囲から外れることになりました。

## （2）当該資金調達の方法を選択した理由

K-1 Globalは今回の資金調達に際しまして、資金調達の確実性を最優先に置きながら、財務基盤の強化、金利負担の観点から、様々な資金調達の手段（借入など）を慎重に検討いたしました。

K-1 Globalは、今回の資金調達に際しましては、エクイティ・ファイナンスの実行が必須であると見え、直接調達の手法により手元資金を調達することにいたしました。

そして、直接調達の手法のうち、昨今の金融情勢、資本市場の状況を勘案しますと、第三者割当の方法による資金調達は、公募増資又は株主割当での発行と比較して、安定的かつ機動的な資金調達方法であることから、第三者割当による新株式の発行による調達といたしました。すなわち、第三者割当の新株発行による調達は、一度に希薄化が進むというリスクは生じますが、早急に当社の自己資本を増強することによって、財務体質の健全化、及び信用力の向上が図れ、また得意先及び金融機関の与信判断にも好材料になると考えられます。また、興行の開催にあたり仕入のニーズは既に発生しており、早急の資金需要がある中では、準備期間が比較的短い手法を選択する必要があります。

このような状況の中、K-1 Globalは、K-1 Global社株式の第三者割当の方法による資金調達を決定いたしました。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### (1) 調達する資金の額

金約 63 百万円

#### (2) 使途及び支出時期

調達資金につきましては、当社 100%子会社である(株)EMCOMエンタテイメントに対する債務の返済に充当いたします。回収いたしました債権につきましては、EMCOMグループの事業運営資金に使用いたします。

### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

今回の第三者割当増資により、LEXI INVESTMENT LIMITED が筆頭株主となります。これまでのK-1 Global の負っている債務を早期に弁済し、債権債務関係を解消することが、先決であると判断されるため、当第三者割当増資における資金使途については合理性があると考えております。

### 5. 割当先の選定理由等

#### (1) 割当先の概要

(1) 商号	LEXI INVESTMENT LIMITED	
(2) 本店所在地	P.O. Box 957, Offshore Incorporations Centre, Road Town, Tortola, British Virgin Islands	
(3) 代表者の役職・氏名	Pioneer Partner Limited	
(4) 事業内容	投資業	
(5) 資本金の額	US\$300,000	
(6) 発行済株式数	300株	
(7) 設立年月日	平成24年11月6日	
(8) 純資産	US\$300,000	
(9) 総資産	US\$300,000	
(10) 決算期	12月31日	
(11) 大株主及び持株比率	PIONEER PARTNER LIMITED 100%	
(12) 当事会社間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。

関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。
-------------	---

※ 割当予定先、当該割当予定先の関係会社の役員が暴力団等の反社会的勢力であるか否か、及び各割当予定先関係者が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、独自に専門の第三者調査機関である株式会社セキュリティ&リサーチ（住所：東京都千代田区 代表取締役：羽田寿次）に調査を依頼し、同社より調査報告書を受領いたしました。当該調査報告書において、当該割当予定先関係者が反社会的勢力である、又は、各割当予定先関係者が反社会的勢力と何らかの関係を有している旨の報告はありませんでした。また、当該割当予定先の主要株主が暴力団等の反社会的勢力であるか否か、及び各割当予定先関係者が反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かにつきましては、LEXI INVESTMENT LIMITED との直接のヒアリング等において反社会的勢力との関係がないとの心証を得た上で、割当先として問題ないと判断いたしました。

(2) 割当予定先を選定した理由

当社は、当社のおかれている財務内容の現状と課題、当社の事業概要及び今後の事業戦略を理解いただけるような複数の有力先と接触を重ねてまいりました。具体的にはイギリス、ロシア、アブダビ及びアメリカにおいてスポンサーとなり得る有力な投資家と交渉を行いました。そのような中、アメリカの投資仲介会社より今回の割当先様である LEXI INVESTMENT LIMITED の紹介を受け、今回の資金調達のご提案を頂いたことに端を発しております。LEXI INVESTMENT LIMITED は幅広く投資業や企業コンサルティングを行い、ファイナンス業務に精通していらっしゃる点から選定いたしました。

LEXI INVESTMENT LIMITED はK-1 Global の事業構想を評価し、今後の成長が期待できる投資先としてK-1 事業に注目したとのことであり、一方、K-1 Global は LEXI INVESTMENT LIMITED について、資金力が潤沢でありK-1 事業成長へのビジョンと価値観を共有できる相手先であると判断いたしました。K-1 事業計画及び経営方針を尊重して頂ける割当先を選定することこそ、K-1 Global が持続的な成長を目指すために最も適切であると判断いたしました。また、割当予定先には、K-1 Global の資金ニーズをご理解頂いたため、第三者割当増資により迅速に必要な資金を確保することが見込めたことも割当予定先を選定した理由であります。

6. 当該連結子会社の概要

(1) 商号	K-1 Global Holdings Limited
(2) 本店所在地	Unit A, 3/F., Queen' s Centre, 58-64 Queen' s Road East, Wanchai, Hong Kong
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 金 健一
(4) 事業内容	ITコンテンツ事業 スポーツ及び格闘技等のエンタテインメントの企画及び主催 スポーツ及び格闘技等のエンタテインメントの運営及び制作等
(5) 資本金の額	HK\$10,000
(6) 設立年月日	平成23年8月2日
(7) 出資比率	株式会社EMCOMエンタテインメント (51.00%) Global financial Consultant limited (49.00%)

#### 7. 第三者割当増資前後の所有株式の状況

(1) 増資前の所有株式数	5,100株 (所有割合: 51%)
(2) 増資による発行株式数	6,000,000株 (第三者割当増資価額: HK\$6,000,000 (金約63百万円))
(3) 増資後の所有株式数	5,100株 (所有割合: 0.085%)

#### 8. 日程

取締役会決議日 平成24年11月21日

引受契約締結日 平成24年11月21日

※なお、子会社の異動日につきましては追ってお知らせいたします。

#### 9. 今後の見通し

- (1) 本第三者割当増資により当社子会社である株式会社EMCOMエンタテインメントの保有割合が減少するため、本第三者割当増資後におきましてはK-1 Global は当社の連結対象の範囲外となります。
- (2) 本第三者割当増資後におきましても引き続き、当社子会社である株式会社EMCOMエンタテインメントによる「K-1」事業は行ってまいります。しかし、従前予定しておりましたエンタテインメント事業における収益構造の変更が予想されます。当社が行うエンタテインメント事業の今後の具体的な運用方針につきましては、今回の割当先様と協議中であり、決定次第お知らせいたします。

また、平成24年11月14日付適時開示にてお知らせいたしました平成24年12月期の連結業績予想に与える影響につきましては、現在精査中であり、重要な影響が発生した場合には、速やかに開示させていただきます。

以上